

富山高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	技術・産業演習	
科目基礎情報							
科目番号	0013		科目区分		専門 / 選択		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		学修単位: 2		
開設学科	制御情報システム工学専攻		対象学年		専1		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	資料を配布する。						
担当教員	水本 巖, 梅 伸司, 清 剛治						
到達目標							
本校が所有する工業系、商船系の教育資源のうち、国際ビジネスに関わる社会科学系人材にとって有益な工学的思考および技術の運用について理解を深めることを目的とする。							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	技術経営の基本について理解が正しくできている。		技術経営の基本について理解ができている。		技術経営の基本について理解できていない。		
評価項目2	ものづくりの基本的流れについて正しく理解できている。		ものづくりの基本的流れについて理解できている。		ものづくりの基本的流れについて理解できていない。		
評価項目3	ものづくりの現場作業の実務（正しい計測・データ処理）が正しく遂行できる。		ものづくりの現場作業の実務（正しい計測・データ処理）が遂行できる。		ものづくりの現場作業の実務（正しい計測・データ処理）が遂行できていない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	グローバル社会において、いかにしてローカルな競争優位を成すかを多面的に考えていくことを目的としている。それは、我々が社会生活を営む「経済地域」の視角から、国際化に対峙する日本人が意識すべき、グローバルーローカルの関連性を認識・理解することにもつながっているものである。						
授業の進め方・方法	本講義においては、事前に提示する課題を学生がこなし報告することで理解度を高める。この課題は翌週の講義とリンクしており、一種の反転教育的に、理解を深化させる構成で実施する予定である。また、現代社会の動向を抑えておくことが必要なため、新聞や経済雑誌などの情報に随時、触れておいてほしい。						
注意点	上述の課題に基づく学生側からの報告が講義の基盤となるので、必ず準備して臨むこと。その意味では極めてハードな講義となるのだが、身につく力量は深化される。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス		本講義の意義と全体概要。		
		2週	企業経営の基本的視点と技術経営の背景と概念		MOTが理解できる1。		
		3週	経営と技術環境の不確実性		MOTが理解できる2。		
		4週	イノベーションの基本的概念と知識創造		MOTが理解できる3。		
		5週	研究開発のマネジメントと市場化のマネジメント		MOTが理解できる4。		
		6週	ものづくりの基本的流れ		ものづくりが理解できる1。		
		7週	製造技術（船舶や航空機などを例に）		ものづくりが理解できる2。		
		8週	生産管理（生産のサイクル、品質とコスト）		ものづくりが理解できる3。		
	2ndQ	9週	ものづくりの国際化		ものづくりが理解できる4。		
		10週	ものづくり実習		ものづくりが理解できる5。		
		11週	計測実習（正しい計測、データ処理）		試作品の作成ができる1。		
		12週	品質管理手法		試作品の作成ができる2。		
		13週	考察とレポート作成		試作品の作成ができる3。		
		14週	試作品報告会の準備		試作品の作成ができる4。		
		15週	試作品報告会		プレゼンテーション。		
		16週	期末試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	100	0	0	0	0	100
基礎的能力	0	80	0	0	0	0	80
専門的能力	0	20	0	0	0	0	20
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0